科目名	コンサート概論1							年度	2024
英語科目名	Overview of concert-1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科舞台コース　1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	堀田　和宏		教員の実務経験		有	実務経験の職種		サウンドエンジニア	

【科目の目的】

コンサートという表現の概要を、音楽の成り立ちから始まり、その成立過程を音楽史の観点から捉えていく。また、コンサートを開催する劇場での舞台・照明・音響の基礎や、業界で使用する専門用語などを学んでいく。

【科目の概要】

この講義ではコンサートや音楽の歴史を学び、現代のコンサートがどのように成り立ったかを伝え、コンサート現場の専門用語などの基礎知識を身に付ける。また興味を持ち続けられるように常に最新のコンサート情報を提供する。コンサートにおけるテクニカル三大セクションである音響、照明、舞台を分野別に解説し、すべてのセクションが違う仕事に従事していたとしても、これらが合わさって初めてコンサート演出が成り立つ、ということを理解する。すべてのセクションを理解することにより、業界において自分が所属する以外のセクションに対して気遣うことができるようになり、現場で愛されるスタッフとなっていく。

【到達目標】

A.音楽の起源、コンサートの語源と起源を認識する

B.古代ギリシャの音楽と劇場が残ったことにより、当時の音楽の再現が一部可能になったことを認識する

C.古代ギリシャ以降、楽譜が発明されるまで、音楽史に空白があるのは何故か？を認識する

D.楽譜の発達と音楽の変遷を時代背景とともに認識する、

E.コンサート現場での作法と専門用語の基礎知識を学び、認識する

【授業の注意点】

この授業では、挨拶・コミュニケーションを重要視し、受け答えがしっかり出来るように注意する。

携帯の使用などに対しては厳しく注意し、場に貢献する意識を醸成させる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	音楽がどのように成り立ち、コンサートが始まったかを細かく説明できる	音楽の成り立ちを理解し、コンサートが始まったかを理解している	音楽の成り立ちとどのようにコンサートが始まったかなんとなく理解している	音楽の成り立ちやどのようにコンサートが始まったかはあまり理解していない	音楽の成り立ちやどのようにコンサートが始まったか全く理解していない
到達目標 B	紀元前古代ギリシャ劇場の遺品から、当時の音楽を推測出来たことを深く理解している	紀元前古代ギリシャ劇場の遺品から、当時の音楽を推測出来たことを理解している	紀元前古代ギリシャ劇場の遺品から、当時の音楽を推測出来たらしいと感じている	紀元前古代ギリシャ劇場や当時の音楽についてあまり理解していない	紀元前古代ギリシャ劇場や当時の音楽について全く理解していない
到達目標 C	紀元前古代ギリシャ以降、楽譜発明まで音楽史に空白時期があることを深く理解している	紀元前古代ギリシャ以降、楽譜発明まで音楽史に空白時期があることを理解している	紀元前古代ギリシャ以降、楽譜発明まで音楽史に空白時期があることは何となく知った	紀元前古代ギリシャ以降、楽譜発明まで音楽史に空白時期があることはあまり理解していない	紀元前古代ギリシャ以降、楽譜発明まで音楽史に空白時期があることは全く理解していない
到達目標 D	9世紀の楽譜発明以降、音楽の歴史が学問的に深くたどれる	9世紀の楽譜発明以降、音楽の歴史が学問的にたどれる	9世紀の楽譜発明以降、音楽の歴史が多少はたどれる	9世紀の楽譜発明以降の音楽の歴史はあまり理解していない	9世紀の楽譜発明以降の音楽の歴史は全く理解していない
到達目標 E	コンサート現場での作法を知り、専門用語の基礎知識を充分に備える	コンサート現場での専門用語を知る	コンサート現場での専門用語はある程度知った	コンサート現場での専門用語にはあまり興味が無い	コンサート現場での専門用語には全く興味が無い

【教科書】

パワーポイントにて作成された資料・説明動画

【参考資料】

すぐわかる４コマ西洋音楽史、舞台技術の共通基礎(2020改訂版)、音楽大辞典

【成績の評価方法・評価基準】

＊試験と課題を総合的に評価する。
＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
＊授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	コンサート概論1	年度	2024
英語表記	Overview of Concert-1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	講師紹介・ コンサート概論とは	講師自己紹介と本授業で学ぶ概要を知る	1	講師自己紹介	講師の素性を知る。	1	
			2	コンサート概論とは	授業のおおまかな概要を知る		
			3	この授業での習得目標	この授業の到達目標を知る		
2	コンサートの語源と音楽の起源について	音楽が成り立ちとコンサートの語源を学ぶ	1	コンサートの語源は？	コンサートの語源を知る	1	
			2	音楽の成り立ちは？	音楽の起源を知る、考える		
			3				
3	音楽とコンサートの歴史（１）	紀元前の古代ギリシャ音楽と劇場	1	紀元前の古代ギリシャ音楽	紀元前の古代ギリシャ音楽が何故再現できたのか？	1	
			2	古代劇場の概要	古代劇場ではどのような催しが開かれていたのか？		
			3	音楽史が途絶えた要因	古代ギリシャ以降、音楽史が途絶えたのは何故？		
4	音楽とコンサートの歴史（２）	9世紀に楽譜発明され音楽史が始まる	1	9世紀のネウマ譜	世界最古の楽譜ネウマ譜の誕生	1	
			2	ネウマ譜以降の音楽の変遷	楽譜の発展と音楽の変遷		
			3				
5	音楽とコンサートの歴史（３）	キリスト教内で発展した音楽	1	キリスト教内で発展する音楽	キリスト教内で音楽が急速に発展、複雑化する	1	
			2	ルネッサンス期音楽への繋がり	その後、ルネサンス期の音楽へどのように映っていくのか？		
			3				
6	音楽とコンサートの歴史（４）	宮廷で発達したバロック音楽	1	バロック期の音楽	ルネサンス期からバロック期への変遷	1	
			2	宮廷音楽の興隆	バロック音楽は宮廷音楽として発展		
			3				
7	音楽とコンサートの歴史（５）	古典派での音楽家の独立	1	古典派は音楽家独立の時代	音楽家独立とパトロンの存在について	1	
			2	音楽を職業とする時代到来	コンサートビジネスの成り立ち		
8	音楽とコンサートの歴史（６）	ロマン派時代、音楽家の著しい活躍	1	ロマン派音楽家の活躍	数多くの音楽家を輩出、音楽家が華々しく活躍	1	
			2	コンサートビジネスの確立	コンサートチケットを購入して音楽を鑑賞する習慣がついた		
			3	音楽評論家の誕生	作品やコンサートの評価を専門にする評論家の活躍		
9	音楽とコンサートの歴史（７）	近現代の新しい音楽スタイル	1	新しい音楽の模索と実験	従来の和声音楽からの脱却のための模索と実験	1	
			2	東洋音楽の影響			
			3	調性の破壊へ			
10	音楽とコンサートの歴史（８）	20世紀の音楽	1	無調音楽の誕生	調性からの完全離脱、12音技法の誕生	1	
			2	実験音楽の到来	ミュージックコンクレート、実験音楽の実際		
			3	電気音響の導入	電気音響の発達により数万人クラスの大規模コンサートが実現可能となった		
11	ビジネスとしてのコンサートとは	職業としてのコンサート現場	1	コンサートでの職業	コンサート現場で働く人（職業）について	1	
			2	コンサート開催までのプロセス	コンサート企画から開催までのプロセス		
			3	コンサート現場での段取り	コンサート現場当日のプロセス		
12	舞台での約束事	コンサート現場の専門用語とマナー	1	コンサート現場の専門用語	コンサート現場で使われる専門用語を学ぶ	1	
			2	コンサート現場でのマナー	コンサート現場でのマナーを知る		
13	コンサート制作のプロセス	コンサート制作のプロセス	1	コンサート開催までのプロセス	コンサート企画から開催までのプロセス	1	
			2	コンサート現場での段取り	コンサート現場当日のプロセス		
14	前期まとめ	前期末試験対策	1	前期授業内容の振り返り	前期授業内容の要点を掴み、期末試験に備える	1	
			2				
			3				
15	舞台機構の概要（１）	劇場の舞台機構[吊物]	1	吊物機構の概要	吊物機構の概要を知る	1	
			2	バトン類	バトンの種類とその特徴を知る		
			3	ブリッジ類	ブリッジの種類とその特徴を知る		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等